



冬休みも終わり、3学期がスタートしました。寒さの厳しい日が続きますので、暖かい図書室で本を読むのはいかがでしょうか。今回の特集は「ブックトークの紹介本コーナー」です。ぜひ来てください。

## ブックトークの紹介本コーナー

12月に行ったブックトーク『鎌倉について』  
紹介本の特集コーナーを作成しました！  
気になる本があれば、ぜひ手に取ってみてください！



- ・『世界でいちばん素敵な神社の教室』茂木貞純/監修 三才ブックス 17/せ
- ・『仏像とお寺の解剖図鑑』スタジオワーク/著 エクスナレッジ 18/ぶ
- ・『てくてく歩き 鎌倉』ブルーガイド編集部/編 実業之日本社 修 291/か
- ・『鎌倉オチビサンポ』安野モヨコ/監修 パイインターナショナル 291/か
- ・『ツバキ文具店』小川糸/著 幻冬舎 913/お
- ・『ツバキ文具店の鎌倉案内』小川糸/文 平澤まりこ/画 幻冬舎 289/お
- ・『るるぶ鎌倉'19』JTBパブリッシング 修 291/る/19
- ・『鎌倉 湘南・葉山』昭文社 修 219/か
- ・『口訳古事記』町田康/著 講談社 913/ま

### 今日は何の日

1月16日



日本初のアイススケート場  
が誕生した日

1876年のこの日、横浜に日本初のアイススケート場ができました。このスケート場は、屋外で自然に水を凍らせたもので「氷すべり場」と呼ばれました。当時スケート靴はとても高価だったので、成長して足の大きさが変わる子ども達の間では、下駄に刃をつけた「下駄スケート」が流行りました。

【参考】『1年まるごときょうはなんの日？1月～3月』

『1年まるごときょうはなんの日？』編集委員会 文研出版 20/い

### ◀関連本はこちら▶

・『蒼い炎』羽生結弦/著 扶桑社 289/は

# 自然に関わる本

## 『ウルド昆虫記バツタを倒しにアフリカへ』

前野ウルド浩太郎/著 光文社 486/ま

この本は著者が昆虫学者として就職をするために、単身アフリカのモーリタニアへ行きバツタの研究をして「バツタに食べられたい」という夢を叶えようとするお話です。

まるで会話をしているような身近な言葉づかいで、現地の文化や日常で起きた事件、研究内容が書かれており、写真や言葉の注釈も多く入っているので実際には難しい部分もわかりやすく、楽しい内容になっております。

研究職のありのままの姿がまとめられているので、将来学者関係を志している人も読んでみるとためになるかもしれません。



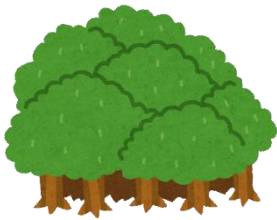
## 『センス・オブ・ワンダー』

レイチェル・カーソン/著 森田真生/訳とそのつづき 筑摩書房 40/か

1965年に出版された『センス・オブ・ワンダー』に加えて、訳者の方が自身の感じるセンス・オブ・ワンダーを書き記した本です。

2人の著者による自然を感じる話は、読んでいてその景色や匂い、暑い寒いの感覚まで伝わりそうな描写が緑豊かな読書体験をさせてくれます。

自然を文字で体験したい方はぜひ手に取ってみてください。



### ◀他にもこんな本があります▶

・『新種発見物語』 島野智之・脇司/編著 岩波書店 46/し

## 懐かしくて、新しい東京

### 睦月 学問の神様



「湯島天神」の名で親しまれている「湯島天満宮」は、学問の神様、菅原道真公すがわらのみちざねこうがまつられ、受験の時期になると多くの受験生が合格祈願に訪れます。

学問に長けていたという道真公は899年に醍醐天皇たいごの右大臣を務めますが、左大臣の藤原時平ふじわらのときひらにより失脚させられ、大宰府に左遷されてしまいます。

やがて道真公が亡くなると、災害や疫病が流行って世の中が不安定になり、そのことが道真公の呪いではないかと恐れられ、怒りを鎮めようと多くの天満宮、天神社が創設されました。その後1355年に住民の願いにより、地主神の天之手力雄命あめのぢからのおみこととあわせて御祭神となりました。

【参考】『東京の懐かしくて新しい暮らし 365 日』

中川よしこ/著 中川マナブ/著 自由国民社 291/な

## 図書室のお知らせ

☆支援員不在時には返却ボックスに図書を返却することができます。ご活用ください。

開室日は月・火・水・木・金です。

開室時間は昼休みです。

貸出冊数は最大2冊までです。

返却後は所定の棚へ戻しましょう。

期限は2週間です。

期限は必ず守ってください。

まだ読みたい場合は返却後、

もう一度貸出を行ってください。

調べ物の図書、読みたい図書を、

**お探しします!**

お気軽に声をかけてください♪